学校番号	1004

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	考古学入門	単位数	１単位	年次	2,3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

夏休みに実施する５日間の集中講座です。
考古学に触れ、埋蔵文化財に対する認識を深めましょう。
発掘体験や博物館実習で、遺物に接し古代の実感を味わい、保管・展示の方法・技術を学びましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
埋蔵文化財に対する認識を深める。
発掘体験や博物館実習で、遺物に接し古代の実感を味わい、保管・展示方法・技術を学ぶ。
【思考力、判断力、表現力等】
実習で学んだ知識や技能を、ポスター制作や展示の際に発揮し、よりよい展示作品を完成させる。
【学びに向かう力、人間性等】
発掘調査や博物館での体験などに積極的に取り組むことで、自ら新たな知識を得ようとする姿勢を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	調査員から、出土遺物の扱いや調査技術・発掘調査の基本などを学び、教室内では学べない話を聞くことによって、知識・技能を獲得する。	発掘調査現場や博物館での体験学習を通じて、地域社会への関心を深め、埋蔵文化財の大切さを理解できるようになる。	発掘調査体験や博物館での体験学習等に積極的に取り組み、疑問に思ったことは質問し、メモをとるなど保管・展示方法などを積極的に学ぶ。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
集中講座	1日目	開講式・安全管理指導 発掘現場の見学（発掘体験現場となる遺跡全体の説明） 講義「発掘調査の流れと方法」 外業実習（遺構の掘削作業等）、実習日誌作成	a:発掘調査の流れを理解することができる b:出土遺物から時代などを考察することができる c:調査員などに自分から積極的に質問したりすることができる	実習日誌	実習日誌	実習に取り組む姿勢、成果
	2日目	外業実習（遺構の掘削作業等） 外業実習（土色調べ・土層面の観察と測量等） 内業実習（土器の説明、土器の洗浄等） 内業実習（土器の注記等）、実習日誌作成	a:土層を観察して、その時代のできごとなどを考察することできる b:効果的な測量方法などを考えることができる c:調査員などに積極的に質問したりすることができる	実習日誌	実習日誌	実習に取り組む姿勢、成果
	3日目	外業実習（平板測量・レベル測量等） 外業実習（遺構の掘削作業等） 内業実習（土器の接合等） 内業実習（土器の実測等）、実習日誌作成	a:出土土器から時代などを考察することができる b:効果的な測量方法などを考えることができる c:調査員などに積極的に質問したりすることができる 実習に精力的に取り組むことができる	実習日誌	実習日誌	実習に取り組む姿勢、成果
	4日目	博物館での実習 展示室・バックヤード・周辺遺跡の見学等 学芸員の講義 体験学習（火おこし、脱穀等）、実習日誌作成	a:効果的な展示方法などを理解できる b:自分なりに効果的な展示方法等について考えることができる c:学芸員などに積極的に質問したりすることができる	実習日誌	実習日誌	実習に取り組む姿勢、成果

	5日目	博物館での実習 　展示室・バックヤード・周辺遺跡の見学等 　学芸員の講義 体験学習（古墳測量、土器実測、土器観察等）、実習日誌作成	a:効果的な展示方法などを理解することができる b:自分なりに効果的な展示方法を考えることができる c:学芸員などに積極的に質問したりすることができる	実習日誌	実習日誌	実習に取り組む姿勢、成果
	文化祭	文化祭において、「私たち考古学に入門しました」としてポスター展示等で成果を発表	a:目をひくポスターをつくることができる b:展示方法などを工夫して、効果的な展示をすることができる c:積極的に工夫を凝らしポスター制作にのぞむことができる	ポスター	ポスター	ポスター制作の過程

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度